
ADVANCE 勤怠の Linux On Power ポーティング稼働検証

IA サーバー上で RedHat6.5 で実績のある ADVANCE 勤怠を 2016 年 11 月からポーティングを目的とし、Linux On Power 環境への移行検証を行いました。

背景・課題

IA サーバー環境のみならず、PowerSystems 環境でも稼働検証を行い、イグアスパートナー様への拡販を目的としています。

課題として Power 版の RedHat6.5 では、ビッグエンディアンの為、RedHat7.1 以降でなければリトルエンディアンがサポートされないことが判明しました。

2017 年 4 月に Linux On Power の RedHat7.2 環境上で正常に稼働検証が完了しました。

CAMSS センターでの検証概要

使用したハード/ソフト

Linux On Power 環境 : Power8 S822L

RedHat Linux Server release 7.2

Apache v2.4.6

MySQL v5.5.45

Ruby v2.2.6p396(2016-11-15 revision 56800) [powerpc64le-linux]

Rails v4.2.6

- 2017 年 2 月末に IA サーバー環境にて Ruby On Rails のプログラムバージョンアップ対応が完了しました。
- 2017 年 3 月から PowerLinux サーバーのフレームワーク等のアップデート作業を開始しました。
- 2017 年 4 月には画面描画系のモジュールのインストールが正常に完了せず時間を要しましたが 4 月 4 日に解決し、4 月 6 日～8 日の期間ですべての ADVANCE 勤怠の動作について問題なく稼働しており、PowerLinux とのオンプレミス提供も可能となりました。

CAMSSセンター

パートナー様ソリューションをLinux on Powerにポーティング

Linux on Powerのハンズオン・レクチャー

パートナー様拠点とVPN接続で検証



Power S822L



また、CAMSSセンターに用意されているVPNを経由して遠隔（パートナーさま拠点）から接続してもパフォーマンスに問題なく、検証をスムーズに行うことができました。

パートナーさまの声

「実際の環境を準備しない限り検証できないテストだったので大変助かった。」

「検証できたおかげで安心して PowerSystems のお客様に提案することができます。」

「今回の検証で最新 RedHat7.2 環境での検証が IA サーバーならびに、PowerSystems でも出来たことは大変有意義でありました。」